

桂キャンパスの福利厚生での夏休みへの対応

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年8月5日）

最近、桂キャンパスでの福利厚生について数件投稿されていますが、関連して休業期間への対応について要望があります。

毎年のことですが、アカデミックカレンダーにおいて夏季休業とされている期間（8、9月）に入ると、桂キャンパスでも食堂の営業時間短縮、閉店（アルテ・リニュー・ハーフムーン）、Aクラスターショップでの生協弁当販売休止などが行われています。

この対応について以前から疑問に思っていました。

桂キャンパスは工学部・工学研究科が研究を行っている場です。確かに8、9月に講義はありませんが、研究室が丸々二ヶ月休みというところは少ないと私や周辺の話聞く限り感じています。

このように、需要が他の期間とそれほど変わらないと想定されるにも関わらず、杓子定規で吉田キャンパスと同様に福利厚生を縮小するというのは、全く現状に即していないように思います。

要望として

- ・お盆の一斉休業期間はともかく、他の8、9月の期間については通常通りの営業を要望します。
- ・また、2、3月についても、卒論・修論・D論の追い込みの時期であるにも関わらず、同様の営業縮小が行われるため、毎年大変困っています。なんとかならないでしょうか。
- ・年が明けてから2月上旬までは延長営業（過去にはハーフムーンの夜間営業も）が行われていますが、正直2月上旬の時点ではほとんどの専攻で修論発表すら終わっておらず、また3月末には日本化学会春季年会など多くの学生・院生が参加する学会があるにも関わらず、なぜこの時期で延長対応が終わるのか全く理解できません。修論発表や公聴会などの日程を考慮した対応を希望します。

何卒よろしく願いいたします。

【回答】（回答日：2019年9月30日）

（教育推進・学生支援部厚生課／京大生協）

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

- ・8-9月の短縮営業について

セレネでは通常一日あたり 1200 名以上の利用がありますが、大学の夏季休業期間は 2/3 の一日あたり 800 名ほどの利用に減少します。特に 18 時以降の時間帯は 200 名ほど減少し通常の約半数に利用が減少します。過去に通常営業していたこともありますが、20 時以降の利用が 10 名にも満たない状況でしたので、20 時までの短縮営業にさせて頂いております。

アルテ、リ्यूヌ、ハーフムーンに関しましては通常期でも 70 名ほどの利用しかなく、過去に 3 店舗とも夏季休業期間も営業していたこともありますが、利用も半分程度まで減ります。それぞれの店舗での最低限の損益分岐点は約 60~70 名の利用が必要です。食に関する福利厚生事業を委託されている生協として最大限の対応はさせて頂きませんが、組合員の出資金を目減りさせる訳にはいきませんので、赤字前提の店舗運営はできません。通常期と同様の営業では経営が成り立たない状態になる 3 店舗であることをご理解ください。夏季休業期間にご不便をおかけしますが、桂セレネをご利用頂ければと思います。

ショップは現状、A ショップ、C ショップとも通常営業で夏季休業期間もご対応させて頂いております。昨年 C ショップ開業したことで B ショップの利用が大きく減少したことから夏季休業期間は B ショップのみ短縮営業にさせて頂いております。また C ショップは 23 : 30 まで営業時間を延ばしております。

・ 2-3 月の営業対応について

セレネの 2 月は通常営業で対応しております。3 月に入ると利用が急激に減少し、一日あたり 600 名ほどの利用にとどまるため、夏季同様に夜の営業時間を一部短縮して対応させて頂いております。他の 3 店舗も同様に 2 月後半まで通常営業対応をさせて頂いており、利用が大きく減少するタイミングで閉店の対応をさせて頂いております。ショップは A ショップ、C ショップとも基本は通常営業の対応をさせて頂いておりますので、ショップも含めてご活用下さい。ご理解下さいますようお願いいたします。